

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 27年 9月 8日

計画の名称	1 相模原市雨水対策基本計画（河川整備プログラム）						
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	相模原市				
計画の目標	「雨に強いまち」さがみはら（浸水被害の軽減・解消に向けて）						
計画の成果目標（定量的指標）	・相模原市雨水対策基本計画に基づき浸水被害対策（河川改修）を実施する地域において、概ね時間雨量50mmの降雨に対して安全となる区域の面積を9.23 k m ² （H22）から9.61 k m ² （H26）に増加。						
定量的指標の定義及び算定式	相模原市雨水対策基本計画に基づき河川改修を行う地域における、概ね50mm/h降雨に対して安全となる区域の面積。 （安全となる区域の面積）＝（改修した河川の延長に対する当該流域面積の合計）			定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初） 中間目標値（H24末） 最終目標値（H26末）			
			9.23 k m ²	9.36 k m ²	9.61 k m ²		
全体事業費	合計（A+B+C）	654.9百万円	A	654.9百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)

最終評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
市内部評価	平成27年8月 公表の方法 市ホームページにて掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	都市基盤	-	相模川水系鳩川（道保川）都市基盤河川改修事業	L=350m 護岸、橋梁、用地	相模原市	■	■	■	■	■	135.6	H24地域自主戦略交付金
1-A1-2	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	総流防	-	相模川圏域総合流域防災事業（準用河川鳩川）	L=270m 掘削、護岸、用地	相模原市	■	■	■	■	■	516.3	H24地域自主戦略交付金
1-A1-3	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	総流防	-	相模川圏域総合流域防災事業（準用河川八瀬川）	L=130m 護岸、橋梁、用地	相模原市	■	■	■	■	■	3	
小計（河川事業）											654.9						
合計											654.9						
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				・ 河川改修を行った結果、治水安全度が向上し、浸水被害は軽減傾向にある。								
II 定量的指標の達成状況				指標① (概ね50mm/h降雨に対して安全となる区域の面積)	最終目標値	9.61 k m2	目標値と実績値に差が出た要因	事業費の確保が出来ず、計画どおり事業を実施できなかったため。				
					最終実績値	9.58 k m2						
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)												
3. 特記事項 (今後の方針等)												
相模原市雨水対策基本計画 (河川整備プログラム) については平成27年度以降も引き続き、河川改修を行い流域における治水安全度の向上を図る。												

